

糸満市学校施設等長寿命化計画



令和4年度（2022年度）改訂
（令和7年度（2025年度）改訂）

糸満市教育委員会

目 次

第1章	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
(1)	計画の背景及び目的	1
(2)	計画の位置付け	2
(3)	計画期間	2
第2章	学校施設等の現状と課題	3
(1)	本市の人口動向と学校施設等に係る行財政状況	3
(2)	施設等の現状	4
第3章	学校施設等の老朽化状況の把握	5
(1)	老朽化状況の把握フロー	5
(2)	躯体の健全性調査	6
(3)	躯体以外の劣化状況調査	7
(4)	調査結果	9
(5)	アンケート調査の実施方法と主な結果	13
(6)	学校施設の今後の維持・更新コスト	16
(7)	学校施設以外の関連施設の老朽化の状況評価	18
第4章	学校施設整備の基本的な方針等	19
(1)	学校施設の規模・配置計画等の方針	19
(2)	新增改築等の基本方針	19
(3)	目標使用年数・改修周期の設定	20
(4)	長寿命化のイメージとその効果	21
第5章	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準・整備計画	22
(1)	改修等の整備水準	22
(2)	直近5年の個別施設の整備計画	22

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 計画の背景及び目的

本市では、2024(令和6)年度現在、学校教育施設を小学校11施設、中学校7施設及び2施設、生涯学習施設2施設、市民文化系施設1施設(以下、教育・文化系施設という。)を有しています。

教育・文化系施設は、子どもたちが知識や教養を身につける学びの場であるとともに、地域住民が世代を超えて交流し、文化やスポーツを楽しむ交流の場です。さらに、地震などの災害時には、地域の皆様が安全に避難し、助け合うための防災拠点としての役割も担っています。

本市のインフラストックにおいて、「教育・文化系施設」は「ハコモノ(建物)」の約54%を占めており、その大部分は1980年代から1990年代にかけて建設されたため、老朽化が進んでいます。

これに対して令和2年3月に「糸満市学校施設等長寿命化計画」を策定し、①防災上の観点から、1981年6月以前の旧耐震基準で建設された建物の改築を含む安全性確保の取り組みと、②長寿命化に向けた維持管理・更新を進めてきました。また、旧耐震基準の建物の改築を進めた結果、現在では「高嶺小学校」と「高嶺中学校」の小中一貫教育校の建設を計画しており、この「高嶺小学校移転改築事業」が完了することで、児童・生徒が日常的に使用する全ての建築物(居室)の耐震化率100%を達成する見込みです。

全国的な少子高齢化・人口減少の流れは、本市も同様となっており、年少人口と生産年齢人口の減少、そして老年人口の増加が予測されており、将来的な市税収入の減少と扶助費などの義務的経費の増大により、財政状況は厳しさを増すことが予想されます。

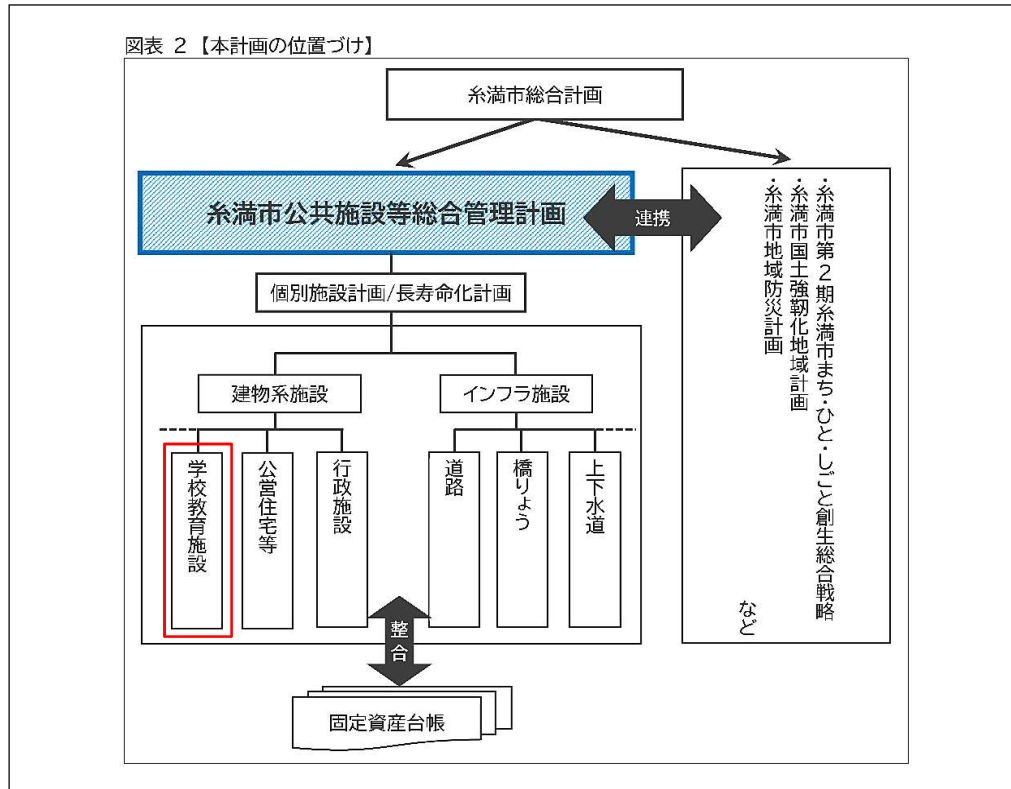
このような背景を踏まえ、本計画では上位計画である「糸満市公共施設等総合管理計画」(平成29年3月策定、令和6年3月改訂)に基づき、本市の学校施設を対象とします。具体的には、新学習指導要領等に対応した高機能・多機能な施設環境の整備、防災対策、バリアフリー化、人口動向を考慮した教室配置、トイレの洋式化など、児童生徒の学習生活空間の快適化、環境負荷の低減といった多様なニーズに対応します。これらのニーズを踏まえ、より最適で実効性のある事業計画として、現行の長寿命化計画を改定し、今後の学校施設の維持管理・更新を着実に推進することを目指します。

中分類	小分類	主な施設
教育・文化系施設	生涯学習施設	糸満市生涯学習センター、南山グスク資料整理室
	学校教育施設	小学校、中学校、 学校給食センター、糸満市適応指導教室
	市民文化系施設	糸満市立中央図書館

※糸満市立中央図書館は別業務にて計画策定

(2) 計画の位置付け

本計画は、国が示している「インフラ長寿命化基本計画」による地方公共団体に対しての「インフラ長寿命化計画(行動計画)」に該当する計画であり、本市上位計画及び関連計画との整合を図りながら策定します。



出典：糸満市公共施設等総合管理計画

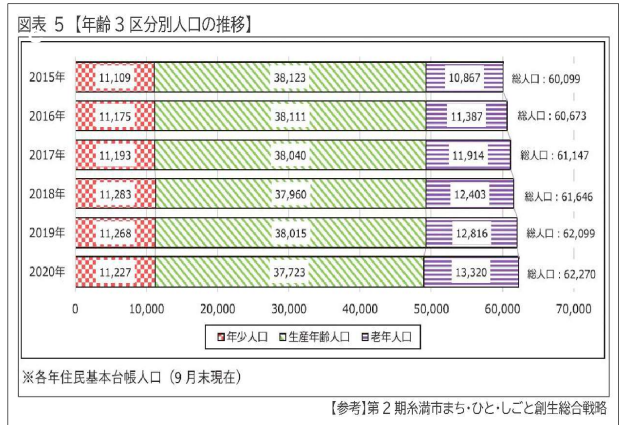
(3) 計画期間

本計画の当初期間は、令和2(2020)年度から令和11年(2029)年度までの10年間とし、計画期間は、概ね5年毎に内容の見直しを行うこととしています。なお、令和7(2025)年度現在、本計画は第2回目の改定となります。コストの見直しについては今後40年間とし、令和46(2064)年度まで検討します。

第2章 学校施設等の現状と課題

(1) 本市の人口動向と学校施設等に係る行財政状況

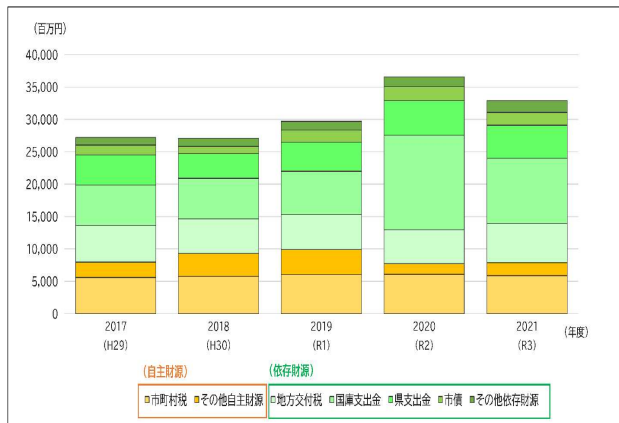
糸満市の総人口及び年齢別人口の推移は、次の図のとおりです。2015(平成27)年から2020(令和2)年の5年間では、本市の人口は増加傾向となっていますが、子育てやまちづくりの中心となる生産年齢人口と年少人口は減少傾向となっており、今後も続くと考えられます。



出典：糸満市公共施設等総合管理計画【改訂】

糸満市の財政状況(歳入)は、次の図のとおりです。

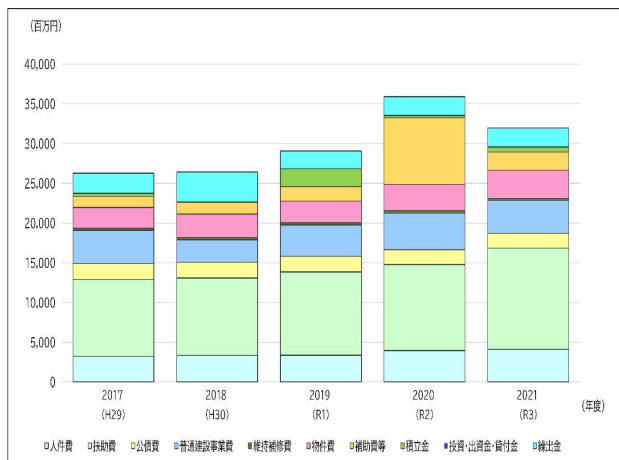
国庫支出金や県支出金などの依存財源は増額傾向となっていますが、それに比べて、糸満市が自由に使える一般財源の根幹である市町村税やその他自主財源の割合は減少傾向にあることがわかります。



出典：糸満市公共施設等総合管理計画【改訂】

糸満市の財政状況(歳出)は、次の図のとおりです。

扶助費が増加傾向と見られ、2020(令和2)年は新型コロナの流行により補助費等が著しく増加したことがわかります。



出典：糸満市公共施設等総合管理計画【改訂】

(2) 施設等の現状

2024(令和6年)年度現在、本市が保有する学校施設等のうち、長寿命化計画の対象施設は、小学校11施設、中学校7施設、生涯学習施設2施設、市民文化系施設1施設となっています。

対象施設の面積は、小学校が約62,600㎡、中学校が約42,000㎡、その他施設が約6,300㎡となっています。

小学校施設等の多くは鉄筋コンクリート造の建築物です。

施設名	児童生徒数(人)		学級数		敷地面積	運動場面積	延べ面積	建築年度	築年数	普通教室数	健全度
	通常学級	特別支援	通常学級	特別支援							
01 兼城小学校	712	55	23	8	7,385㎡	6,676㎡	7,906㎡	1982	築42年	31	80
02 糸満小学校	514	39	18	6	9,982㎡	6,753㎡	6,044㎡	1981	築43年	24	80
03 糸満南小学校	721	67	24	10	14,243㎡	11,149㎡	7,524㎡	2011	築13年	34	90
04 高嶺小学校	236	24	11	5	13,699㎡	6,140㎡	5,028㎡	1969	築55年	16	57
05 真壁小学校	139	10	6	3	10,258㎡	6,399㎡	4,443㎡	2002	築22年	9	89
06 喜屋武小学校	77	11	6	2	16,538㎡	8,225㎡	3,219㎡	1981	築43年	8	68
07 木須小学校	136	10	6	3	12,161㎡	6,431㎡	4,458㎡	1991	築33年	9	89
07-1 木須小学校大度分校	1	2	1	1	2,723㎡	2,806㎡	475㎡	2018	築6年	2	
08 西崎小学校	608	53	21	8	12,977㎡	12,121㎡	9,095㎡	1982	築42年	29	69
09 潮平小学校	528	33	18	6	9,641㎡	6,654㎡	7,300㎡	1989	築35年	24	73
10 光洋小学校	455	37	16	6	13,786㎡	10,776㎡	7,070㎡	1993	築31年	22	75
11 兼城中学校	308	27	11	4	9,092㎡	10,881㎡	6,531㎡	1992	築32年	15	75
12 糸満中学校	578	28	18	5	15,870㎡	9,270㎡	7,535㎡	1997	築27年	23	83
13 高嶺中学校	127	12	6	3	11,163㎡	11,201㎡	4,432㎡	1975	築49年	9	63
14 三和中学校	208	11	7	2	12,373㎡	11,542㎡	5,345㎡	1987	築37年	9	80
14-1 三和中学校大度分校	5	6	2	2	2,846㎡	2,806㎡	767㎡	2018	築6年	4	
15 西崎中学校	514	25	16	5	14,065㎡	14,509㎡	9,800㎡	1986	築38年	21	73
16 潮平中学校	280	13	9	2	15,525㎡	10,470㎡	7,735㎡	2001	築23年	11	72
17 南山グスク資料整理室(旧高嶺幼稚園)	-	-	-	-	-	-	508㎡	1975	築49年	-	53
18 給食センター	-	-	-	-	-	-	1,480㎡	1993	築31年	-	54
19 糸満市適応指導教室	-	-	-	-	-	-	106㎡	1993	築31年	-	75
20 糸満市立中央図書館	-	-	-	-	-	-	3,612㎡	1995	築29年	-	77
21 糸満市生涯学習センター	-	-	-	-	-	-	624㎡	1993	築31年	-	75

※詳細は「建物情報一覧」P.9参照

小中学校のうち、高嶺小学校及び高嶺中学校の整備については、現校舎が南山城跡の上に建設されていることから、埋蔵文化財の発掘調査などに支障が生じていること並びに、校舎が危険校舎の判定がされていることから、学校移転先として隣接する高嶺中学校の敷地(拡張予定敷地含む)へ移転改築を計画しています。

また、高嶺小学校と高嶺中学校は、糸満市では初となる「小中一貫教育校」として、学習内容並びに学習環境の充実など、子どもたちの学校生活がより良いものとなるように施設の整備に努めてまいります。

糸満小学校並びに糸満南小学校は、児童の増加が著しいため、既存校舎内部の改修やプレハブ校舎の建設を行い対応しています。

その他、小学校・中学校の既存建築物については、この計画を元に国の補助を活用して、建築物の長寿命化、学習環境の向上、防災機能の強化などに取り組んでいきます。

関連施設である学校給食センターは、運営面、衛生面及び法規的な面などから、移転改築を検討してまいります。

第3章 学校施設等の老朽化状況の把握

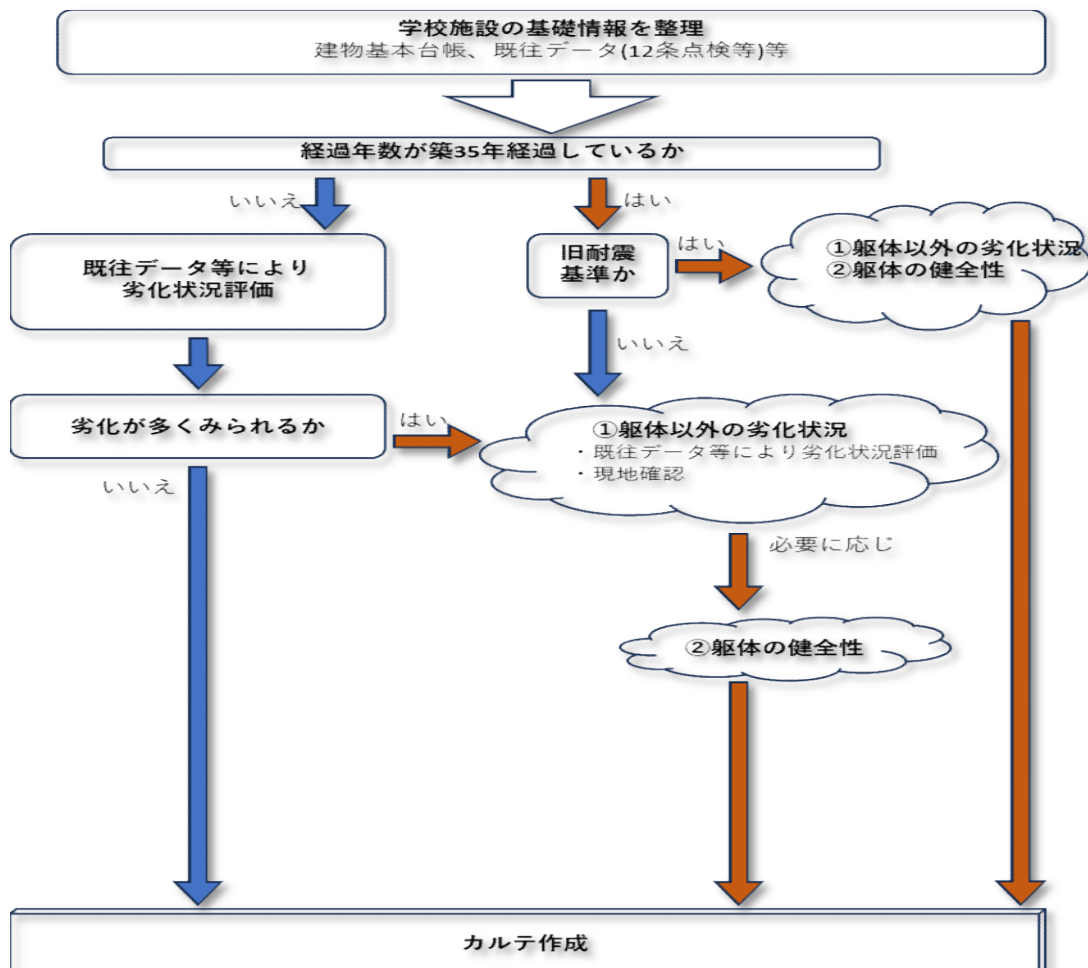
学校施設の老朽化は、教育環境の質を左右する重要な課題です。建物を将来にわたり長く使い続けるためには、その老朽化状況を正確に把握し、計画的かつ適切な改修・修繕を行うことが不可欠です。これにより、単に建物の寿命を延ばすだけでなく、長期的な視点でのコスト削減、そして何よりも生徒や教職員が安全で快適な環境で学び、活動できる場を提供し続けることが可能になります。上記目標を達成するため、以下に老朽化状況の把握フローを定めます。

(1) 老朽化状況の把握フロー

老朽化状況の把握は、施設の安全性を確保し、将来的な維持管理計画を策定する上で極めて重要です。まず築年数や建築基準法第12条に基づく定期調査報告書、そして前回老朽化状況を調査した際の報告書やデータといった既存情報を総合的に評価します。

築年数は建物の基本的な経年を示す重要な指標であり、過去の修繕履歴や改修状況と合わせて老朽化の進行度合いを推測します。これらの既存情報を分析し、必要に応じて現地での詳細な調査を実施します。特に学校施設においては、児童生徒の安全確保が最優先されるため、老朽化の進行状況を厳しく評価する必要があり、一般的に築40年程度で改築される傾向にあることを踏まえ、今回は前回の調査結果と経過年数を基に築35年以上が経過している建物を現地調査の対象としました。

現地調査では、目視による劣化状況の確認、設備の動作チェック、構造体の健全性の評価など多角的な視点から建物の状態を把握し、今後の修繕計画や建て替え計画を具体的に立案するための基礎資料として活用します。



(2) 躯体の健全性調査

今回の調査は、対象施設のコンクリートの中性化深さ試験とコンクリート強度の調査を通じて、その構造躯体の健全性を詳細に評価することを目的として実施しました。コンクリートの劣化状況を把握することは、建物の長期的な安全性と機能性を確保する上で極めて重要です。これにより、適切な時期に予防的な補修や改修計画を立てることが可能となり、予期せぬ大規模な損傷やそれに伴うコストの増大を防ぐことができます。また、利用者の安全を確保することにも繋がります。

調査対象とした施設は、現地で確認されたものの中から、その建物用途を慎重に考慮し、管理棟や普通教室棟など、日常的に利用されることが想定される主要な施設に絞り込みました。なお、旧耐震基準の建物も対象としたため、屋外倉庫も調査対象に含まれています。これにより、人々の安全と建物の機能性に直結する部分に重点を置いて調査を進めることができました。

調査の結果、コンクリート強度については、対象施設において一部を除き概ね良好な状態であることが確認されました。これは、構造躯体が十分な強度を保っており、建築時の品質が維持されていることを示しています。次に、中性化深さ試験の結果ですが、すべての施設で進行が見られ、中性化深さの理論値よりも進行している施設も見られました。コンクリートの中性化は、空気中の二酸化炭素がコンクリート内部に侵入し、アルカリ性が失われる現象で、将来的に鉄筋の腐食を誘発する可能性があります。今回の調査を踏まえ、屋上や外壁等の防水対策、躯体のひび割れの補修等のコンクリートの中性化対策を行う必要があります。

これらの結果を総合的に判断すると、コンクリート圧縮強度および中性化深さ試験の結果は健全な施設がある一方で、調査を実施した施設の中には、中性化深さが経年劣化により進行している施設もあることから、施設の長寿命化の観点から速やかに中性化対策を施す必要があります。耐力度等に関する評価において課題が認められた施設については、改築を実施する方針です。また、今後も定期的な点検と適切な維持管理を行うことで、施設の長期的な安全性と機能性を維持していくことが重要です。

躯体の健全性調査結果

	施設名	コンクリート圧縮強度(N/mm ²)				中性化深さ(mm)					
		①	②	③	平均	①	②	③	平均	理論値	
1	兼城小学校 17号棟	33.3	40.2	45.3	39.6	(32.0) 27.7	(26.0) 19.7	(20.0) 16.5	21.3	>	14.7
2	糸満小学校 14号棟	35.4	30.6	29.0	31.7	(5.0) 3.8	(3.0) 1.8	(14.0) 11.7	5.8	<	14.9
3	高嶺小学校 13号棟	30.7	42.1	35.7	36.2	(29.0) 22.2	(4.0) 2.8	(3.0) 1.8	8.9	<	14.2
4	高嶺小学校 16号棟	33.6	29.9	32.9	32.1	(16.0) 12.8	(2.0) 1.3	(14.0) 10.3	8.1	<	12.4
5	喜屋武小学校 10号棟	29.4	33.3	34.3	32.3	(20.0) 16.5	(25.0) 22.0	(26.0) 20.5	19.7	>	14.9
6	西崎小学校 1号棟	28.4	32.4	36.5	32.4	(13.0) 10.2	(31.0) 27.3	(16.0) 13.8	17.1	>	14.7
7	潮平小学校 1号棟	38.1	31.2	32.5	33.9	(24.0) 19.7	(30.0) 27.2	(22.0) 19.3	22.1	>	13.4
8	高嶺中学校 12号棟	31.4	30.4	36.8	32.9	(14.0) 12.2	(11.0) 8.5	(8.0) 6.2	9.0	<	13.6
9	三和中学校 14号棟	30.6	25.4	33.1	29.7	(12.0) 10.2	(22.0) 18.5	(3.0) 2.5	10.4	<	13.6
10	西崎中学校 1号棟	29.6	40.9	43.2	37.9	(32.0) 28.2	(14.0) 13.0	(15.0) 13.8	18.3	>	14.0

()内は最大値を示す

※コンクリート圧縮強度について13.5N/mm²以上あれば「長寿命化」、13.5N/mm²未満であれば「改築」として試算を行う。

※中性化深さ理論値(浜田式) : C=A×√t で算出。係数A=2.3、C=中性化深さ、t=年数

中性化は経年で進行するため、理論値との比較で経年以上に中性化が進んでいないかを評価します。

竣工年度	コンクリート強度の推定値(kgf/cm ²)
1953年以前	Fc = 135 (13.5 N/mm ²)
1954~1958年	Fc = 150 (15.0 N/mm ³)
1959~1969年	Fc = 180 (18.0 N/mm ⁴)
1970年以後	Fc = 210 (21.0 N/mm ⁵)

出典:(一財)日本建築防災協会/2017年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準同解説

(3) 躯体以外の劣化状況調査

a. 調査概要

学校施設の老朽化の実態を把握するため、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を準拠して、現地調査等を行いました。

今後の調査は、建築基準法第12条に基づく定期の報告、検査に係る建築物3年毎、建築設備（昇降機を除く）1年毎の委託業務の中で、一級建築士等の知見や見解を伺うとともに、調査・点検報告書の活用を検討して行きます。

b. 評価基準・健全度の算定

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

評価基準

経過年数による評価【内部仕上、電気設備、機械設備】

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは、各建物の部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定することが考えられる。下表は、同算定表における外装と建具（外部）を合わせて外壁とし、内装と建具（内部）を合わせて内部仕上げとし、機械設備に昇降機を含め、「長寿命化」の改修比率を屋根・屋上と外壁に按分している。（下記例では6%を案分している。）

部位を追加・変更する場合は、適宜コスト配分を設定し直す必要がある（p.58参照）。

①部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 66$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

（右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例）

部位	評価	評価点	配分	計算
1 屋根・屋上	C	40	4.2	168
2 外壁	D	10	14.9	149
3 内部仕上げ	B	75	21.3	1,598
4 電気設備	A	100	9.0	900
5 機械設備	C	40	16.6	664
計				3,479
				÷ 66
健全度				53

②部位のコスト配分(例)

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	21.3
4 電気設備	9.0
5 機械設備	16.6
計	66

出典：文部科学省「学校施設の長寿命化改修の手引き（概要）」

(3) 躯体以外の劣化状況調査

前回調査時と同様に、屋上・屋根・外壁は経年劣化が進んでいます。ただし、屋上や屋根の防水を改修した部分は改善されています。今回の調査では、建物の外側だけでなく、雨漏りの原因となり得る箇所、ドアや窓などの建具の状態、そしてそれらの建具の周りのシーリング材の劣化も進んでいることが確認されました。

外壁については、広範囲には劣化が進んでいませんが、随所や海岸に近い部分では劣化が進行しています。その結果、雨漏り等が発生している箇所があります。雨漏りは、建物の屋上や上階にある防水機能が古くなっていること、窓枠などに使われているシーリング材が劣化していること、雨水をスムーズに流す排水の仕組みがうまく機能していないこと、コンクリートにひびが入っていることなどが主な原因です。

一方、コンクリートのひび割れ（爆裂）は、コンクリートの中にある鉄筋が錆びて膨らむことで、コンクリートが押し出されて剥がれ落ちる現象です。この原因としては、コンクリートが空気中の二酸化炭素と反応して弱くなる（中性化）ことや、塩分による影響（塩害）、鉄筋を覆うコンクリートの厚みが足りない（かぶり厚さ不足）ことなどが挙げられます。

天井や構造の問題に加えて、電気設備（照明、配線、ブレーカーなど）や機械設備（換気扇、空調、給排水ポンプなど）も、時間の経過とともに劣化が進んでいます。具体的には、照明器具の破損による照明不点灯や器具の落下の恐れがあることや、モーターやポンプの部品が摩耗して効率が落ちたり、機器不良による異音や配管の腐食による漏水が発生したりすることが挙げられます。

これらの設備の劣化は、日常生活における不便だけでなく、漏電や火災、水漏れなどの大きなトラブルにつながる可能性もあります。

今回の調査で、建物の様々な部分で経年による劣化が確認され、それぞれの問題が複合的に影響し合っている状況が明らかになりました。早期に適切な対策を講じることで、さらなる劣化の進行を防ぎ、建物の安全性と快適性を維持することが重要になります。

築年数別平均健全度(令和6年度)

	小学校 (平均健全度)	中学校 (平均健全度)	その他施設 (平均健全度)
築0年—10年	98	—	—
築11年—20年	89	82	—
築21年—30年	75	73	68
築31年—40年	68	68	64
築41年以降	53	41	31

この表は、様々な建物の情報をまとめて平均化したものです。築30年を過ぎると、建物の状態を示す点数が75点を下回る傾向にあります。この時期には、建物の様々な個所、あるいは広範囲にわたって劣化が見られるようになり、安全性や機能面での問題が現れ始める兆候があります。

これまでのやり方では、広範囲に劣化が進んでから大規模な修繕（改修）を行うことが一般的でした。しかし、その結果として多額の費用がかかり、最終的に建て替えを選ぶケースが多くありました。

(4) 調査結果

c. 調査結果 (1)

建物情報一覧

■ : 築50年以上	RC: 鉄筋コンクリート造	■ : 低圧縮強度
■ : 築30年以上	S: 鉄骨造	
	W: 木造	
■ : 概ね良好	■ : 広範囲に劣化	
■ : 部分的に劣化	■ : 早急に対応する必要がある	

2024年 3月31日時点	計 112棟	延床面積	111,037㎡
------------------	--------	------	----------

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価							
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分			階数	延床面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性		長寿命化判定		調査年度	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
					中分類	区分	構造			西暦	和暦	築年数	基準	診断	調査年度							
1	122	兼城小学校	校舎1	017	小学校	校舎	RC	4	2,481	1982	S57	42	新	R6	39.6	-	長寿命	B	C	B	C	54
2	122	兼城小学校	体育館	018	小学校	体育館	RC	3	1,215	2008	H20	16	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
3	122	兼城小学校	校舎2	020	小学校	校舎	RC	4	4,210	2018	H30	6	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	85
4	123	糸満小学校	校舎1	014	小学校	校舎	RC	1	44	1981	S56	43	旧	R6	31.7	-	要調査	B	C	C	C	42
5	123	糸満小学校	校舎2	015	小学校	校舎	RC	2	139	1993	H5	31	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	67
6	123	糸満小学校	体育館	020	小学校	体育館	RC	2	1,127	2004	H16	20	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75
7	123	糸満小学校	校舎3	022	小学校	校舎	RC	3	2,347	2006	H18	18	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	85
8	123	糸満小学校	校舎4	025	小学校	校舎	RC	2	1,347	2006	H18	18	新	-	-	-	長寿命	C	B	A	A	91
9	123	糸満小学校	校舎5	026	小学校	校舎	RC	3	1,011	2006	H18	18	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
10	123	糸満小学校	校舎6	027	小学校	校舎	RC	1	29	2006	H18	18	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	85
11	124	糸満南小学校	校舎1	020	小学校	校舎	RC	2	2,434	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	A	77
12	124	糸満南小学校	校舎2	021	小学校	校舎	RC	2	1,644	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	85
13	124	糸満南小学校	校舎3	022	小学校	校舎	RC	2	1,531	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	A	77
14	124	糸満南小学校	体育館	023	小学校	体育館	RC	2	1,215	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
15	124	糸満南小学校	校舎4	024	小学校	校舎	RC	1	25	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
16	124	糸満南小学校	校舎5	025	小学校	校舎	RC	1	20	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
17	124	糸満南小学校	校舎6	026	小学校	校舎	RC	1	133	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
18	124	糸満南小学校	校舎7	027	小学校	校舎	RC	2	522	2018	H30	6	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
19	125	高嶺小学校	校舎1	008	小学校	校舎	RC	1	17	1969	S44	55	旧	-	-	-	要調査	B	B	C	C	50
20	125	高嶺小学校	校舎2	011	小学校	校舎	RC	3	602	1974	S49	50	旧	-	-	-	要調査	C	D	C	C	33
21	125	高嶺小学校	校舎3	012	小学校	校舎	RC	3	944	1979	S54	45	旧	-	-	-	要調査	C	D	C	C	33
22	125	高嶺小学校	校舎3	012	小学校	校舎	RC	3	405	1984	S59	40	新	-	-	-	要調査	C	D	C	C	33
23	125	高嶺小学校	校舎4	013	小学校	校舎	RC	2	683	1985	S60	39	新	R6	36.2	-	要調査	C	C	C	C	40
24	125	高嶺小学校	校舎5	014	小学校	校舎	RC	1	44	1985	S60	39	新	-	-	-	要調査	C	C	C	B	54
25	125	高嶺小学校	体育館	015	小学校	体育館	RC	2	1,119	1994	H6	30	新	-	-	-	要調査	B	B	B	B	75
26	125	高嶺小学校	校舎6	016	小学校	校舎	RC	2	1,049	1994	H6	30	新	R6	32.1	-	要調査	B	B	B	B	75
27	125	高嶺小学校	校舎7	017	小学校	校舎	S	1	21	2002	H14	22	新	-	-	-	要調査	B	B	B	B	75
28	125	高嶺小学校	校舎8	018	小学校	校舎	RC	1	144	2006	H18	18	新	-	-	-	要調査	A	A	A	A	100
29	126	真壁小学校	校舎1	015	小学校	校舎	RC	2	142	2002	H14	22	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	67
30	126	真壁小学校	校舎2	016	小学校	校舎	RC	3	1,701	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	C	C	A	A	83
31	126	真壁小学校	校舎3	017	小学校	校舎	RC	3	1,120	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	93
32	126	真壁小学校	校舎4	018	小学校	校舎	RC	3	513	2011	H23	13	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	85
33	126	真壁小学校	体育館	019	小学校	体育館	RC	2	967	2012	H24	12	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	85
34	127	喜屋武小学校	校舎1	010	小学校	校舎	RC	1	41	1981	S56	43	旧	R6	32.3	-	要調査	D	D	D	B	35

(4) 調査結果

c. 調査結果 (2)

建物情報一覧

■ : 築50年以上	RC: 鉄筋コンクリート造	■ : 低圧縮強度
■ : 築30年以上	S: 鉄骨造	
	W: 木造	
A: 概ね良好	C: 広範囲に劣化	
B: 部分的に劣化	D: 早急に対応する必要がある	

2024年 3月31日時点	計 112棟	延床面積	111,037㎡
------------------	--------	------	----------

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価									
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			調査年度	屋根・屋上	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
					中分類	区区分			西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	(N/mm ²)	耐力度							試算上の区分
35	127	喜屋武小学校	校舎2	011	小学校	校舎	RC	1	47	1982	S57	42	新	-	-	-	長寿命		C	D	B	B	B	58
36	127	喜屋武小学校	校舎3	012	小学校	校舎	RC	1	97	1984	H6	30	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
37	127	喜屋武小学校	校舎4	013	小学校	校舎	RC	2	1,136	1995	H7	29	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
38	127	喜屋武小学校	校舎5	014	小学校	校舎	RC	2	958	1995	H7	29	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
39	127	喜屋武小学校	校舎6	015	小学校	校舎	S	1	26	2002	H14	22	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
40	127	喜屋武小学校	校舎7	016	小学校	校舎	S	1	20	2005	H17	19	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
41	127	喜屋武小学校	体育館	017	小学校	体育館	RC	2	894	2010	H22	14	新	-	-	-	長寿命		B	B	A	A	A	93
42	128	米須小学校	校舎1	011	小学校	校舎	RC	3	1,379	1991	H3	33	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
43	128	米須小学校	校舎2	013	小学校	校舎	RC	1	103	1995	H7	29	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
44	128	米須小学校	体育館	015	小学校	体育館	RC	2	894	2009	H21	15	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
45	128	米須小学校	校舎3	016	小学校	校舎	RC	3	417	2020	R2	4	新	-	-	-	長寿命		A	A	A	A	A	100
46	128	米須小学校	校舎4	017	小学校	校舎	RC	3	1,453	2020	R2	4	新	-	-	-	長寿命		A	A	A	A	A	100
47	128	米須小学校	校舎5	018	小学校	校舎	RC	5	141	2020	R2	4	新	-	-	-	長寿命		A	A	A	A	A	100
48	128	米須小学校	校舎6	019	小学校	校舎	RC	1	71	2020	R2	4	新	-	-	-	長寿命		A	A	A	A	A	100
49	129	西崎小学校	校舎1	001	小学校	校舎	RC	3	4,711	1982	S57	42	新	R6	32.4	-	長寿命		B	B	B	C	C	61
50	129	西崎小学校	校舎2	002	小学校	校舎	RC	3	3,219	1982	S57	42	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	C	C	61
51	129	西崎小学校	体育館	003	小学校	体育館	RC	2	1,056	1982	S57	42	新	-	-	-	長寿命		A	A	A	A	A	100
52	129	西崎小学校	校舎3	004	小学校	校舎	RC	1	109	1983	S58	41	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	C	C	54
53	130	潮平小学校	校舎1	001	小学校	校舎	RC	3	2,352	1989	H元	35	新	R6	33.9	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
54	130	潮平小学校	体育館	002	小学校	体育館	RC	2	1,249	1989	H元	35	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
55	130	潮平小学校	校舎2	003	小学校	校舎	RC	2	160	1990	H2	34	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
56	130	潮平小学校	校舎3	004	小学校	校舎	RC	3	1,728	1989	H元	35	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
57	130	潮平小学校	校舎4	005	小学校	校舎	RC	3	1,811	1989	H元	35	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
58	131	光洋小学校	校舎1	001	小学校	校舎	RC	2	2,016	1993	H5	31	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
59	131	光洋小学校	体育館	002	小学校	体育館	RC	2	1,249	1993	H5	31	新	-	-	-	長寿命		C	C	B	B	B	65
60	131	光洋小学校	校舎2	003	小学校	校舎	RC	1	113	1993	H5	31	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
61	131	光洋小学校	校舎3	004	小学校	校舎	RC	2	1,875	1993	H5	31	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
62	131	光洋小学校	校舎4	005	小学校	校舎	RC	2	1,817	1993	H5	31	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
63	3572	兼城中学校	校舎1	012	中学校	校舎	RC	1	103	1992	H4	32	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
64	3572	兼城中学校	体育館	015	中学校	体育館	RC	3	1,637	1998	H10	26	新	-	-	-	長寿命		B	C	B	B	B	67
65	3572	兼城中学校	校舎2	020	中学校	校舎	RC	3	1,272	2004	H16	20	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
66	3572	兼城中学校	校舎3	021	中学校	校舎	RC	3	3,503	2004	H16	20	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
67	3572	兼城中学校	校舎4	022	中学校	校舎	S	2	16	2004	H16	20	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75
68	3573	糸満中学校	校舎1	017	中学校	校舎	RC	2	163	1997	H9	27	新	-	-	-	長寿命		B	B	B	B	B	75

(4) 調査結果

c. 調査結果 (3)

建物情報一覧

■ : 築50年以上	RC: 鉄筋コンクリート造	■ : 低圧縮強度
■ : 築30年以上	S: 鉄骨造	
	W: 木造	
■ : 概ね良好	■ : 広範囲に劣化	
■ : 部分的に劣化	■ : 早急に対応する必要がある	

2024年 3月31日時点	計 112棟	延床面積	111,037㎡
------------------	--------	------	----------

建物基本情報													構造躯体の健全性				劣化状況評価						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		階数	延床面積 (㎡)	建築年度			耐震安全性				長寿命化判定				健全度 (100点満点)			
					中分類	施設区分			構造	地上	地下	西暦	和暦	築年数	耐震安全性	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	耐力度		試算上の区分	調査年度	屋根・屋上
69	3573	系満中学校	校舎2	020	中学校	校舎	RC	3	3,502	2008	H20	16	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	A	A	77
70	3573	系満中学校	校舎3	021	中学校	校舎	RC	3	2,639	2008	H20	16	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
71	3573	系満中学校	校舎4	022	中学校	校舎	RC	1	26	2008	H20	16	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
72	3573	系満中学校	校舎5	023	中学校	校舎	RC	1	40	2008	H20	16	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	93
73	3573	系満中学校	体育館	024	中学校	体育館	S	3	1,165	2012	H24	12	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
74	3574	高嶺中学校	校舎1	010-1	中学校	校舎	RC	2	474	1981	S56	43	旧	R6	29.6	4176	要調査	B	C	C	C	C	42
75	3574	高嶺中学校	校舎1	010-2	中学校	校舎	RC	2	179	1993	H5	31	新	R6	29.6	4176	要調査	B	C	C	C	C	42
76	3574	高嶺中学校	校舎2	012	中学校	校舎	RC	2	877	1988	S63	36	新	R6	32.9	-	要調査	B	C	B	B	B	67
77	3574	高嶺中学校	校舎3	013	中学校	校舎	RC	1	125	1991	H3	33	新	-	-	-	要調査	B	B	B	B	B	75
78	3574	高嶺中学校	校舎4	016	中学校	校舎	RC	1	39	1975	S50	49	旧	-	-	-	要調査	C	C	C	C	C	40
79	3574	高嶺中学校	校舎5	017	中学校	校舎	RC	2	1,513	1997	H9	27	新	-	-	-	要調査	B	C	B	B	B	67
80	3574	高嶺中学校	校舎6	018	中学校	校舎	S	1	66	2005	H17	19	新	-	-	-	要調査	B	B	B	B	B	75
81	3574	高嶺中学校	体育館	019	中学校	体育館	RC	2	1,159	2010	H22	14	新	-	-	-	要調査	B	C	A	A	A	85
82	3575	三和中学校	校舎1	013	中学校	校舎	RC	2	132	1987	S62	37	新	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	65
83	3575	三和中学校	校舎2	014	中学校	校舎	RC	3	1,039	1988	S63	36	新	R6	29.7	-	長寿命	B	C	B	B	B	67
84	3575	三和中学校	校舎3	015	中学校	校舎	RC	3	1,944	1992	H4	32	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	67
85	3575	三和中学校	体育館	016	中学校	体育館	RC	2	1,138	2009	H21	15	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	A	85
86	3575	三和中学校	校舎4	017	中学校	校舎	RC	3	1,092	2013	H25	11	新	-	-	-	長寿命	B	C	A	A	A	85
87	3576	西崎中学校	校舎1	001	中学校	校舎	RC	3	5,493	1988	S61	38	新	R6	37.9	-	長寿命	B	B	C	B	B	64
88	3576	西崎中学校	体育館	002	中学校	体育館	RC	2	1,222	1986	S61	38	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	67
89	3576	西崎中学校	校舎2	003	中学校	校舎	RC	3	1,736	1987	S62	37	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
90	3576	西崎中学校	校舎3	004	中学校	校舎	RC	3	1,216	1992	H4	32	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	67
91	3576	西崎中学校	校舎4	008	中学校	校舎	RC	1	133	2009	H21	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
92	3577	潮平中学校	校舎1	001	中学校	校舎	RC	3	4,704	2001	H13	23	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	67
93	3577	潮平中学校	校舎2	002	中学校	校舎	RC	3	1,324	2001	H13	23	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	67
94	3577	潮平中学校	校舎3	003	中学校	校舎	RC	1	29	2001	H13	23	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
95	3577	潮平中学校	校舎4	004	中学校	校舎	RC	1	37	2001	H13	23	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
96	3577	潮平中学校	体育館	005	中学校	体育館	RC	2	1,338	2001	H13	23	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
97	3577	潮平中学校	校舎5	006	中学校	校舎	RC	1	166	2001	H13	23	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
98	3577	潮平中学校	部室1	007	中学校	校舎	S	1	51	2002	H14	22	新	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	56
99	3577	潮平中学校	部室2	008	中学校	校舎	S	1	20	2002	H14	22	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
100	3577	潮平中学校	部室3	009	中学校	校舎	S	1	66	2003	H15	21	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	67

(4) 調査結果

c. 調査結果 (4)

建物情報一覧

■ : 築50年以上	RC: 鉄筋コンクリート造	■ : 低圧縮強度
■ : 築30年以上	S: 鉄骨造	
	W: 木造	
■ A: 概ね良好	■ C: 広範囲に劣化	
■ B: 部分的に劣化	■ D: 早急に対応する必要がある	

2024年 3月31日時点	計 112棟	延床面積	111,037㎡
------------------	--------	------	----------

2024													構造躯体の健全性			劣化状況評価											
建物基本情報													耐震安全性			長寿命化判定				調査年度	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		階数		延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	耐力度	区分								試算上の
101	6649	南山グスク資料整理室 (旧高嶺幼稚園)	校舎1	001	その他	その他	RC	1	260	1975	S50	49	旧	済	+	R2	21.0	-	要調査			D	D	C	C	C	31
102	6649	南山グスク資料整理室 (旧高嶺幼稚園)	校舎2	003	その他	その他	RC	1	248	2000	H12	24	新	+	+	-	-	-	長寿命			B	B	B	B	B	75
103	K081	給食センター	共同利用施設	002	給食センター	給食センター	S	1	180	1993	H5	31	新	+	+	-	-	-	要調査			A	B	B	B	B	77
104	K081	給食センター	共同利用施設	003	給食センター	給食センター	S	1	108	1993	H5	31	新	+	+	-	-	-	要調査			A	B	B	B	B	77
105	K081	給食センター	共同利用施設	004	給食センター	給食センター	RC	2	1,192	1996	H8	28	新	+	+	-	-	-	要調査			A	B	B	B	B	77
106		糸満市適応指導教室			その他	その他	S	1	106	1993	H5	31	新	+	+	-	-	-	長寿命			B	B	B	B	B	75
107		糸満市立中央図書館			その他	その他	RC	2	3,612	1995	H7	29	新	+	+	-	-	-	長寿命			A	B	B	B	B	77
108		糸満市生涯学習支援センター	共同利用施設		その他	その他	RC	2	624	1993	H5	31	新	+	+	-	-	-	長寿命			B	B	B	B	B	75
109		米須小学校大度分校	校舎1	001	小学校	校舎	RC	2	345	2018	H30	6	新	+	+	-	-	-	長寿命			-	-	-	-	-	0
110		米須小学校大度分校	体育館	002	小学校	体育館	RC	2	224	2018	H30	6	新	+	+	-	-	-	長寿命			-	-	-	-	-	0
111		三和中学校大度分校	校舎1	001	中学校	校舎	RC	2	408	2018	H30	6	新	+	+	-	-	-	長寿命			-	-	-	-	-	0
112		三和中学校大度分校	体育館	002	中学校	体育館	RC	2	265	2018	H30	6	新	+	+	-	-	-	長寿命			-	-	-	-	-	0

(5) アンケート調査の実施方法と主な結果

■調査の目的

本調査は、学校施設に関わる課題の全体像を把握することを目的として、バリアフリー、学習環境や支援学級数の変化に伴う空き教室・不足室の状況、温熱環境等を主な対象とします。必要に応じてその他の観点も含めて、現状とニーズを整理していきます。

実際に施設を利用している方々の意見を収集し、今後の学校施設の維持管理や機能向上、子どもたちの学習環境の改善につなげるとともに、限られた財源の中で効率的・効果的な施設マネジメントを実現するための貴重な基礎資料として活用していきます。

■調査の概要

経年による老朽化状況や改修履歴を把握することで施設の実態を把握し、計画的で適切な維持管理を実施するための基礎データを収集します。

これは、建物の劣化を未然に防ぐ予防保全の実施を通じて長寿命化を促進するとともに、計画的な修繕によるライフサイクルコストの平準化によって財政負担の軽減を図り、長寿命化計画策定のための現況データ収集にも繋がります。

- ・調査対象：各小中学校(全16校)の学校管理者および教職員
- ・実施方法：アンケート調査票によるデータ収集
- ・調査期間：令和7年10月
- ・回収率：100% 全16校

■調査結果（建物の現状について）

①外壁の状態

建物が全体的に古く、構造的な部分（基礎、つなぎ渡り、耐震性への懸念）について外壁の広範囲にわたるひび割れと剥離が確認されています。

②屋根・防水の状態

壁や窓からの広範囲な雨漏りや教室の壁の剥がれ（木片が刺さる危険性）等が確認されています。

③内装(床・壁・天井)の状態

建物の老朽化が内部まで進行し、生徒の安全（扇風機の落下懸念、危険な窓枠、剥がれた床）や衛生環境（蟻、ネズミ、湿気）に深刻な影響を与えていることがわかりました。

④設備(空調・照明等)の状態

空調、照明、換気扇・扇風機といった日常の教育活動に必須の設備が全体的に老朽化しており、特に空調の効きの悪さや照明の不点灯が広範囲に影響を与えていることがわかりました。

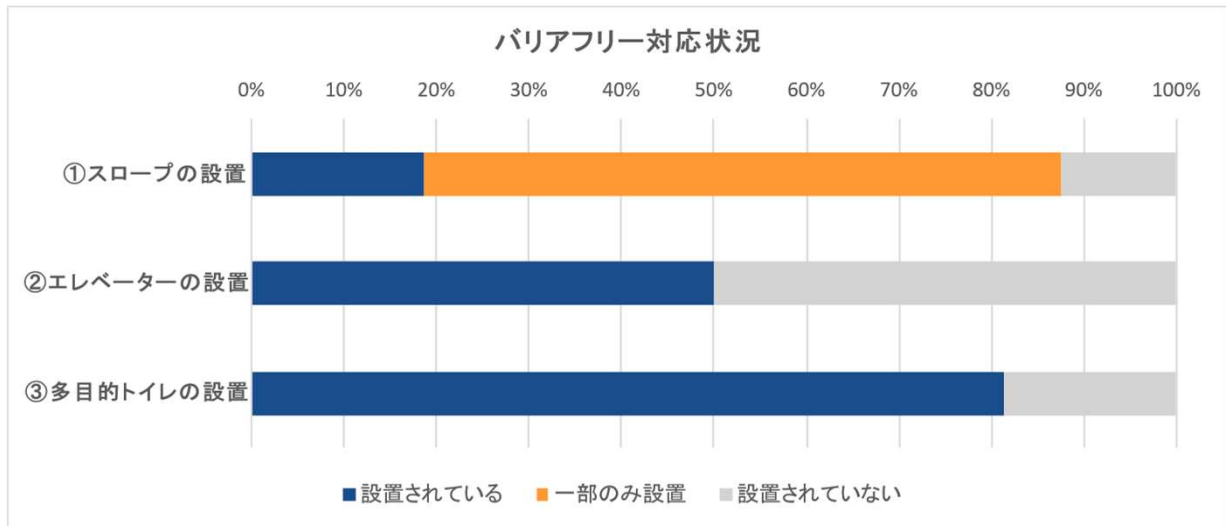
⑤教室の利用状況

学校運営上の課題の一つは教室不足であり、使用可能な空き教室(パソコン教室等)を修繕・整備して教室に転用することが必要であると判断できます。

(5) アンケート調査の実施方法と主な結果

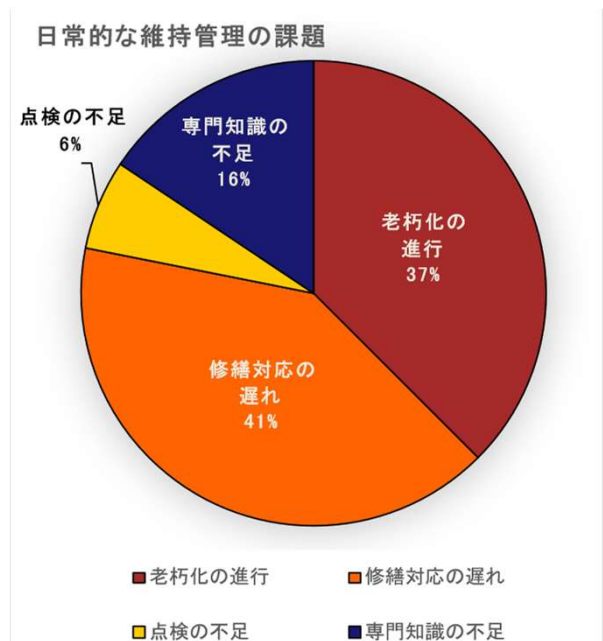
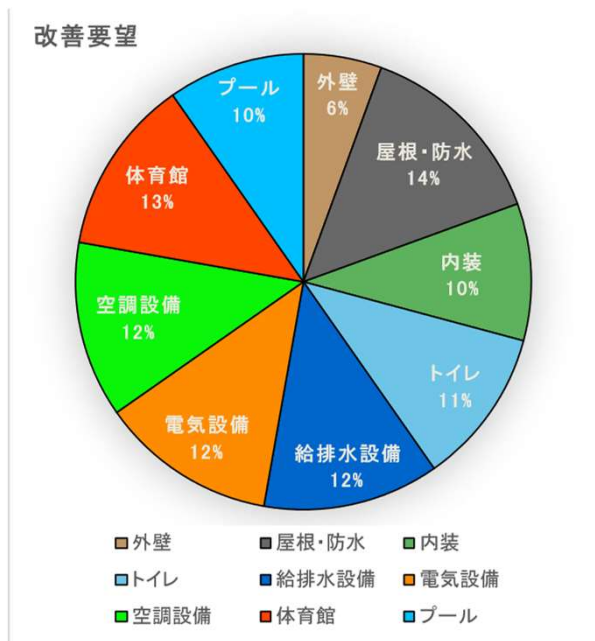
バリアフリー対応状況

スロープは多くの施設で整備が進み、約90%で設置されています。しかし、建物の出入口から目的地までを結ぶ連続した動線が途中で途切れてしまう場所が一部に残っています。エレベーターは半数の施設で、階移動に不便さが残っています。多目的トイレは約80%の施設で設置が進んでいます。



改善要望

施設の老朽化が進み、校舎や体育館などでひび割れや破損、浮きが多発し、安全性と耐震性、防犯面でも課題となっている。プール設備の劣化も深刻で、底塗装や床・サイドの剥離や破損によりケガのリスクが高く、日差し除けなどの熱中症対策も必要となります。さらに、非常時にベランダなどの避難経路がないことや、児童生徒と車両の別動線の確保、落下物リスクなど、日常の安全管理にも多くの改善が求められています。加えて、ネズミやゴキブリ等の害獣害虫、モグラ被害、スロープの不足など、衛生・環境およびアクセシビリティの面でも対策が必要となっています。



(5) アンケート調査の実施方法と主な結果

■総評

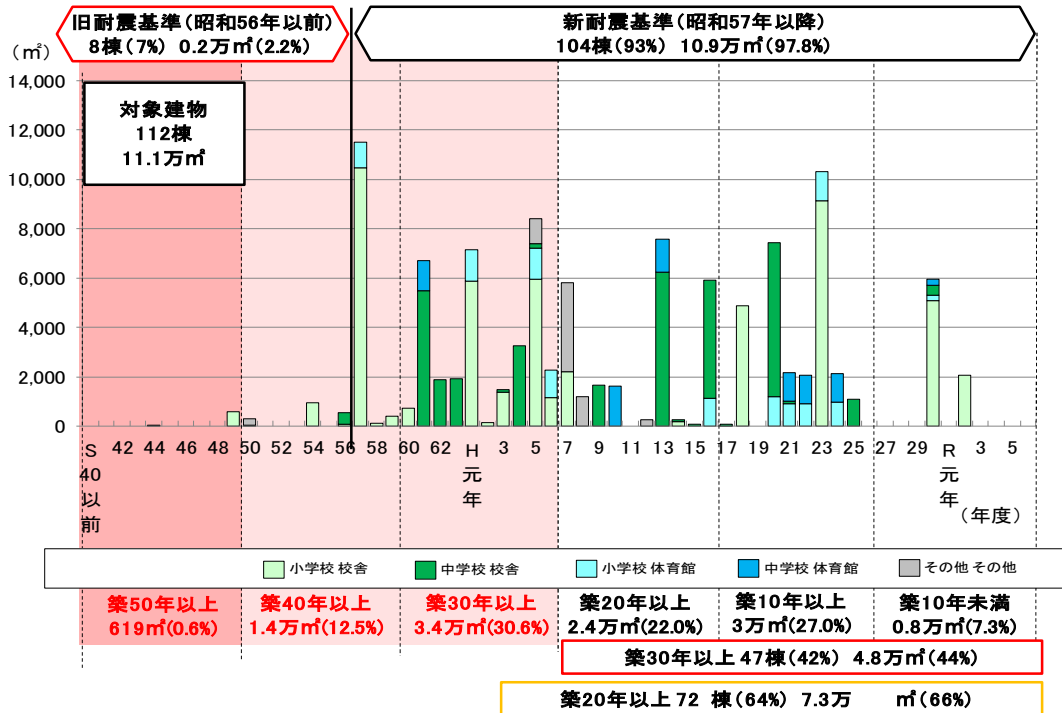
全体として、建物や設備が古くなっており、雨漏りや空調機器の故障、トイレの詰まり、そしてインターネット環境など、毎日の学校生活に直結する不具合が見られる場合もあり、利用環境に影響が出ています。危険な箇所を優先して直しつつ、計画的に改善を進める仕組みが必要です。

主な意見		
1. 教室・校舎の増設と配置	教室の不足と配置	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の増(各クラスの教室確保、教室増加をぜひ) ・教室を増やしてほしい(内装・その他) ・各クラスの教室確保・元々のキャパが少ないため、教室が足りないこと ・少人数教室・多目的スペースの不足(学年全体で活動できる教室がない、多目的スペースの確保)
2. トイレ設備の修繕・改善	トイレの老朽化・機能不備	<ul style="list-style-type: none"> ・3F男子トイレ手洗い場の修繕 ・3F多目的トイレが使えない ・トイレつまりが多い、3Fトイレ水漏れあり ・トイレの作りが子どもたちに合わない、早めに作り替えてほしい ・男子トイレがすべて個室、小便器がない ・女子職員に対しての個室トイレが少ない ・トイレが全体的に古く、便器の詰まりや排水の詰まりがきになる・児童トイレのガラス
3. ICT環境・ネットワーク	接続の不具合・機器の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境改善、ネット回線の不具合・インターネット環境が悪く、すぐに改善を希望します ・電波が悪い、chromebookが足りない、電子黒板設置・Wi-Fiがつながらない ・Wi-Fi環境を良くしてほしいです ・今、現場で一番困っているのは、電子黒板やPCが安定してネットにつながらないこと ・タブレットを人数分欲しいです
4. 校舎の老朽化・構造的な問題	危険な箇所の修繕・安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震基準を満たしていない校舎(中棟)が、既存状態が続いている ・教室の床や天井に穴が開いている ・ベランダ(コンクリートひび割れあり) ・外壁、防水(雨漏り) ・ひび割れ、水漏れ
5. 設備・備品の不具合	空調・水道・電気・家具など	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した空調設備、空調施設の改善(効きが悪い) ・水場(水道設備が足りない) ・電気設備、冷水器の修理 ・放送室の放送設備(修理不能) ・机、教卓やイスの劣化(ゴムテープで補強)
6. 防犯・セキュリティ	施錠・防犯機器の不備	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室のカギ(防犯上カギのかからない教室が多く危険) ・教室の入口のカギ破損、体育館のカギの破損 ・防犯カメラが使えてない ・体育館のカギをスマートキーへ交換、倉庫の施錠
7. 体育館・特別教室・その他	利用環境・特殊な問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールコート床の劣化修繕 ・体育館の窓の鍵が壊れている ・体育館の舞台側、通用口が常時使えた方がよい ・図書室の雨漏り・エレベーターの設備がない(骨折児童への対応)
8. 予算・対応への意見	予算・迅速性・運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に予算を ・修繕の早期対応 ・予算の関係上なかなか修繕が進みません、事故が起きてからは遅いので早急な対応をお願いしたい ・長寿命化とは関連しないが、エレベーターの設備がない ・教育への予算をしっかりとつけてほしいと思います

(6) 学校施設の今後の維持・更新コスト

a. 調査の結果を踏まえ、次のことが分かりました。

築年別整備状況



注) 旧耐震基準建物は主に、屋外便所・倉庫等の非居室を示す。

本市が管理する学校施設等の整備状況を、延べ床面積で整理し築年数別でグラフにしたものです。改築事業では校舎をある程度の数を同時に整備するため築年数は重なる傾向にあることが分かります。

学校施設等の延床面積は、11.1万㎡で、対象建物のうち10.9万㎡(97.8%)が新耐震基準の建物として建設されています。築年数別で考えると、築30年以上が経過した建物延床面積が3.4万㎡(30.6%)となっており、築20年が経過した建物延床面積と合わせると5.8万㎡(52.6%)を占める割合となります。

本計画では、従来手法による建て替えを中心とした維持・管理方式と、長寿命化計画による予防・改善を取り入れた維持・管理方式を比べるために、糸満市提供単価を基に工事費を設定しコストを算出しました。

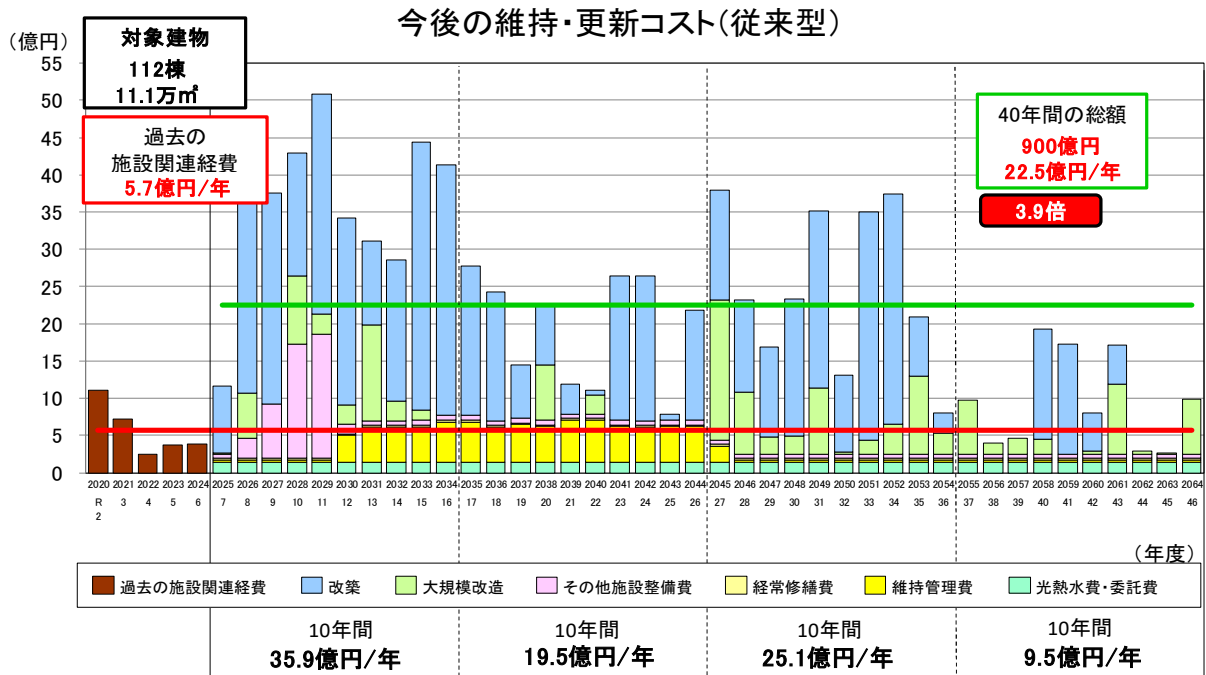
事業名	周期	単価		事業期間
		校舎	体育館	
改築	80年	495,300 円/㎡	495,300 円/㎡	2ヶ年 初年度は設計のみ
長寿命化	40年	改築単価×60%		2ヶ年 初年度は設計のみ
予防改修	20年	改築単価×25%		1ヶ年
大規模改造	40年	90,700 円/㎡		1ヶ年
大規模改造 (空調)	13~15年	47,300 円/㎡		1ヶ年

※糸満市における過去の類似した工事費等を参考に単価を採用

※試算方法は文科省の試算プログラムを基に設定し、事業単価の割合は文科省の数値を採用

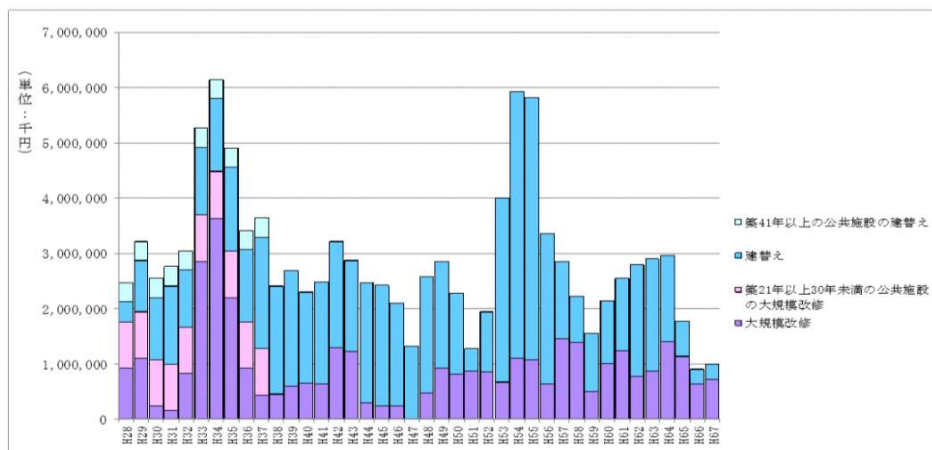
(6) 学校施設の今後の維持・更新コスト

b. 今後の維持・更新コスト（従来型・長寿命化型）



従来の改築を中心とした修繕・改修を今後も続けた場合、今後40年間のコストは900億円（22.5億円/年）かかります。これは直近5年間の施設関連経費5.7億円/年を上回り約3.9倍の費用がかかります。さらに令和7年から10年間は改築が重なり、直近5年間の施設関連経費の約6.3倍もの費用がかかり、従来の改築中心の整備を継続することは困難と言え、対応策を検討する必要があります。

図2-15. 市有建物の将来更新費用推計結果



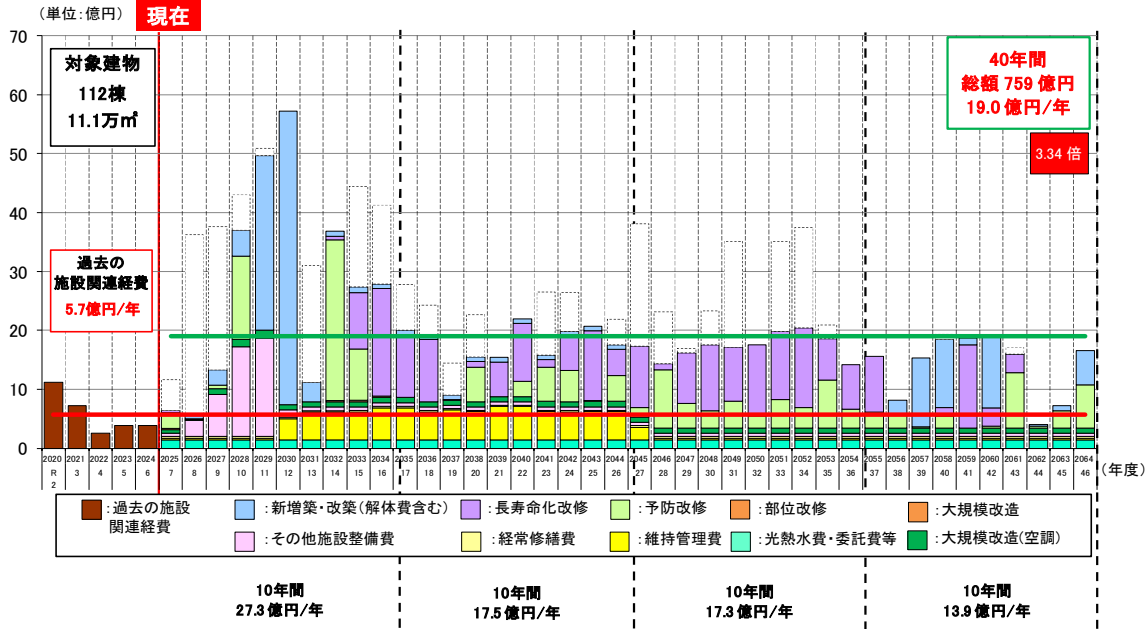
出典：糸満市公共施設等総合管理計画

本市全体の計画でも、同様に改築が重なる傾向が確認できます。

(6) 学校施設の今後の維持・更新コスト

b. 今後の維持・更新コスト（従来型・長寿命化型）

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



※コストについては、学校施設整備台帳に明記のある校舎等が反映されており、工作物(プール本体・グラウンド等)・付帯設備(キュービクル等)の費用は含まれていない。

建て替え中心の従来方法から、長寿命化を中心とした予防的な手法に替えると、維持・更新コストは抑えられ、40年間の平均も22.5億円/年から19.0億円/年と3.5億円/年の削減となります。40年間の総額も900億円から759億円になり、維持・更新コストの縮減及び、平準化が可能となってきます。また、直近10年間の事業費についても今後さらなる縮減を図るよう努めます。

※糸満市中央図書館に係るコストは、糸満市立中央図書館長寿命化策定業務(R4.3)にて算定した金額を使用
 ※給食センターに係るコストは、糸満市新学校給食センター整備事業より試算した金額を使用

(7) 学校施設以外の関連施設の老朽化の状況評価

生涯学習施設（糸満市生涯学習センター、南山グスク資料整理室）、学校教育施設（糸満市適応指導教室、学校給食センター）についても、学校施設と同様な調査方法、評価基準に基づいて建築物の健全度を評価しました。調査の結果、次のことが分かりました。

給食センターでは、外部の劣化状況はひび割れや建具廻り及び屋根材のシーリングの劣化が確認されました。内部の劣化状況は、雨漏りが多く発生しており、調理場では施設側で応急的な処置が講じられている状況が確認されました。また、調理機器の配管からの漏水や外壁との接続部からの漏水が見られ、安全安心な給食を提供する上で建築物の適正な維持管理及び安全性確保が課題となります。

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本市の学校施設は、市街地に立地する学校並びに農村集落地に立地する学校があるため、それぞれの地域の実情に合わせて、学校施設整備の方針を定めていきます。

a. 学校施設利用環境の改善

児童生徒や施設利用者への学習環境の向上や防災機能の強化、バリアフリー化等といった必要な機能について、改善に努めていきます。

b. 集約化・複合化等及び施設利用の最適化を検討する学校施設等

高嶺小学校と高嶺中学校は、小中一貫教育校に向けて施設一体とした整備をすることで多機能化や小中一体とした空間の有効活用を目的とする「施設の集約化・複合化」に取り組みます。これ以外の学校施設やその他施設(プール等)については、将来の児童生徒数を見据え、その時々状況に合わせた統廃合や施設の利用状況に合わせた運営方法及び利用方法の最適化、集約化・複合化等の検討を行っていきます。

また、他の公共施設との複合化・共用化については、関係部署と連携し、必要に応じて検討を進めていきます。

c. 学校規模適正化（小規模校の解消）に係る学級編制の定員の改善（学級数の増加）

公立小学校のすべての学年で学級定員が35人に改善されています。

また、令和8年度から令和10年度までに中学校の学級定員は、現在の40人から35人学級に引き下げとなる見込みのため、使用教室の状況や必要教室数の確保に留意が必要です。

これらの学級定員の改善は、全国的な少子化に伴う学校規模の適正化（小規模校の解消）と関連して議論されることが多く、教育の質の維持・向上と学校運営の効率化を両立する観点から、長寿命化計画の策定においても、将来的な学級数の変化やそれに伴う施設利用の最適化を考慮することが重要です。

また、本市の財政負担の軽減、平準化を図るためには、学校施設も持続可能な保有量とする必要があり、学校施設の更新の際には児童生徒数の動向など地域特性を考慮し、必要な教育環境を確保しつつ、既存保有面積を適宜見直しながら「施設の床面積縮減」を目指していきます。

d. 今後の維持管理について

今後老朽化した施設が増えていくなか、適切な管理をしてくうえで民間委託による包括管理等を検討していく必要があります。

(2) 新增改築等の基本方針

糸満市の校舎の構造は、鉄筋コンクリート造のラーメン構造です。体育館については、鉄筋コンクリート造、屋根は鉄骨造で、造られています。

2.2 構造種別

表2 構造種別の目安

建築物の高さ	構造種別
20m 以下	RC造
20m を超え 30m 以下	RC造又はSRC造
30m を超え 45m 以下	SRC造又はS造
45m を超える	S造

出典：文部科学省「建築構造設計指針（平成21年版）」

(3) 目標使用年数・改修周期の設定

ア) 糸満市の目標使用年数や改修周期は、次の考えに基づいて設定します。

a. 平成13年(2001年)4月に開校した、潮平中学校以降の学校は、順次バリアフリー化や新世代学習空間などが整備されていることから、目標使用年数は文部科学省が示す80年とします。

b. 平成12年(2000年)度以前の学校施設は、劣化の状況に違いがあり適正な維持管理を保持するための改修がされていないことやバリアフリー化などにも対応していないことから、原則80年を目標使用年数としますが、財産処分の制限期間である供用開始60年後や長寿命化改修を実施する際に建物の劣化状況調査等を行い状況を確認し、専門業者からの当該建物にかかるコストなど総合的な見解を示したうえで、建物ごとに改築事業を選択するか又は、引き続き長寿命化を選択し80年使用するかを判断して行きます。

イ) 改修周期の設定

a. 原則、既存建築物は経年劣化を遅らせるため、建設年度の古い建築物から順に改修を行っていきます。

b. 例外規定として、立地条件(建築物が、潮風の影響でコンクリートの中酸化が早く中の鉄筋の腐食が進行すること)や建築物の特性(建築物は建設時の施工業者の技術力等に依存し、施工などの良否も建築物の経年劣化の進行に大きく影響を及ぼすこと)によって、建築物の劣化は1棟ごとに変化し改修周期が変化します。

c. 最終的に改修の優先度は、児童生徒及び教職員が安全で安心して使用することが出来ることを前提に、現地調査等で老朽化の実態を把握し、その結果を健全度(数値化)として情報を集め、状態が良い建築物であれば優先度は低くなり、逆に、建築物の軒裏や外壁のコンクリートの劣化、並びに躯体以外の設備等の経年劣化の判定が悪ければ、優先順位は高くなります。

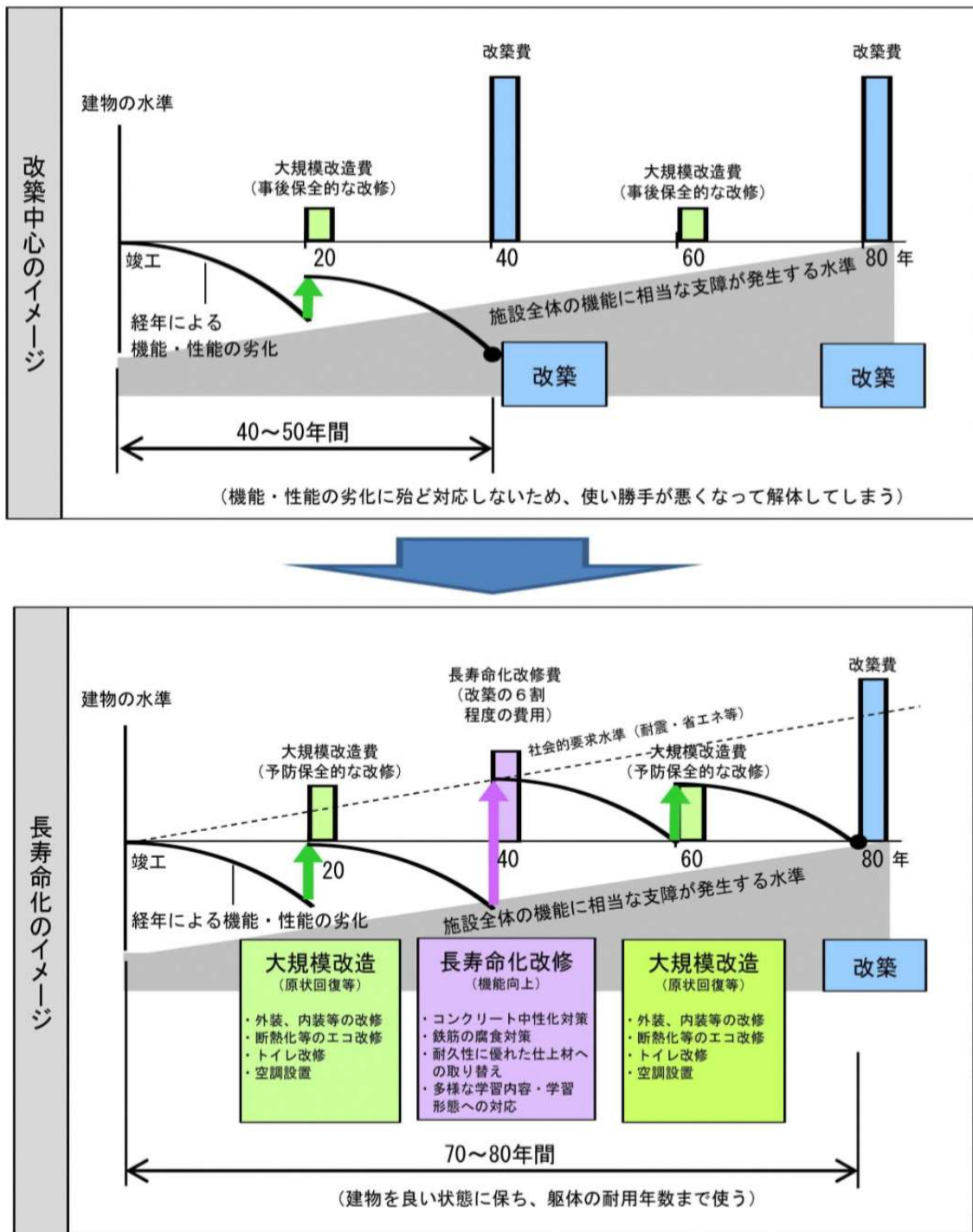
また、建築物の軒裏や外壁のコンクリート、れんが等が経年劣化により剥がれ落下する事例が発生した時又は、その恐れが高い時などは、児童生徒及び教職員の安全確保のために、当該建築物の改修優先度は高くなります。

d. 長寿命化を図る建築物に対し、これまでに適切な時期に対策を講じることができなかった建物ではコンクリートの経年劣化や中性化の進行が進んでいる状況です。構造体への影響の懸念がある場合には、速やかに躯体の耐久性を高めるための屋上防水や外壁塗替え等の対策を実施します。建物の延命化や中性化の進行を抑えつつ、長寿命化を図りながらも適切な時期に改築に移行できるようにすることで、児童生徒及び教職員の安全確保に努める必要があります。

区 分 [㊦]	目標使用年数 [㊦]	大規模改修の周期 [㊦]	長寿命化改修の周期 [㊦]
平成13年度以降 [㊦] (2001年以降) [㊦]	80年 [㊦]	築20年/60年 [㊦]	築40年 [㊦]
平成12年度以前 [㊦] (2000年以前) [㊦]	原則80年 [㊦] 又は60年 [㊦]	築20年/60年 [㊦]	築40年 [㊦]

(4) 長寿命化のイメージとその効果

学校施設は従来、40～50年間の使用で経年劣化した機能及び性能の低下は改築を中心として対応してきましたが、予防並びに要求される性能を満たすために構造体を再利用した長寿命化を行うことで、①工事費が約4割程度縮減、②工期が大幅に短縮されることで、学校運営の負担が減少、③建設廃棄物の発生が減るため、沖縄県内の逼迫している処分場へ排出する廃棄物が少なくなるなど、環境負荷への低減も効果が期待できます。



出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定の手引きと解説」

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準・整備計画

(1) 改修等の整備水準

各学校施設の改修等の整備水準を、次のとおり定めます。選択する建築物の部位の劣化状況や耐用年数を基に、安全面、機能面、環境面等について、糸満市内の各学校が同一基準で、統一された整備水準・整備計画になるように進めます。ただし、実際の整備にあたっては、予算と各学校の具体的な状況を総合的に判断し、優先順位を設けて実施します。

(2) 直近5年の個別施設の整備計画

令和 8 (2026) 年度

○新增改築事業

【高嶺小学校】高嶺小学校の移転及び中学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（基本設計）を行います。

【高嶺中学校】高嶺中学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（基本設計）を行います。

○長寿命化改良事業

【糸満市立中央図書館】老朽化した糸満市立中央図書館の大規模改修の計画(工事)を行います。

○予防改修事業

○大規模改造事業

【西崎小学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（実施設計・工事）を行います。

【潮平小学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（実施設計・工事）を行います。

【糸満中学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（実施設計・工事）を行います。

【潮平中学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（実施設計・工事）を行います。

○その他施設改修事業等

【糸満中学校】生徒数増加による教室数不足の予測から既存校舎内改修の計画(工事)を行います。

【照明器具更新改修事業】小中学校の校舎既設照明器具LED化の更新計画(調査)を行います。

【電話機更新改修事業】小中学校の電話機器の老朽化に伴う更新計画(調査)を行います。

【電話機更新改修事業】小学校の電話機器の老朽化に伴う更新計画(実施設計)を行います。

【南山城整備推進事業】高嶺小学校の移転に伴う用地取得の計画(調査)を行います。

【学校施設排水対策事業】三和中・真壁小周辺の排水施設整備に伴う公共下水接続の整備計画(工事)を行います。

【糸満南小学校校舎増築事業】児童数増加による教室数不足の解消に伴う仮設校舎設置（賃貸借）を引き続き行います。

【高嶺小学校児童等安全対策及び生涯学習推進事業】高嶺小学校の移転計画に伴う仮設校舎設置(賃貸借)を引き続き行います。

【学校施設老朽化抑制事業】学校施設の老朽化を抑制するため外壁改修・防水工事等の計画(調査・設計)を行います。

(2) 直近5年の個別施設の整備計画

令和 9 (2027) 年度

○新增改築事業

【高嶺小学校】高嶺小学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（基本設計・実施設計）を行います。

【高嶺中学校】高嶺中学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（基本設計・実施設計）を行います。

【給食センター】給食センターの改築及び改修に伴う増改築計画(調査・基本設計)を行います。

○長寿命化改良事業

【兼城小学校】老朽化した兼城小学校旧校舎の長寿命化改良の計画（基本設計）を行います。

○予防改修事業

【潮平小学校】老朽化した潮平小学校校舎の予防改修の計画(実施設計)を行います。

○大規模改造事業

【西崎小学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（工事）を行います。

【潮平小学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（工事）を行います。

【糸満中学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（工事）を行います。

【潮平中学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画（工事）を行います。

【光洋小学校】校舎の既存空調設備の更新及び新設の計画(実施設計・工事)を行います。

○その他施設改修事業等

【米須小学校】既存石積みの改修整備の計画(工事)を行います。

【学校施設屋外教育環境整備事業】高嶺小学校の移転に伴うグラウンドの整備計画(実施設計)を行います。

【照明器具更新改修事業】小学校の校舎既設照明器具LED化の更新計画(実施設計)を行います。

【電話機更新改修事業】小学校の電話機器の老朽化に伴う更新計画(工事)を行います。

【電話機更新改修事業】中学校の電話機器の老朽化に伴う更新計画(実施設計)を行います。

【南山城整備推進事業】高嶺小学校の移転に伴う用地取得の計画(調査・用地取得等)を行います。

【糸満南小学校校舎増築事業】児童数増加による教室数不足の解消に伴う仮設校舎設置（賃貸借）を引き続き行います。

【高嶺小学校児童等安全対策及び生涯学習推進事業】高嶺小学校の移転計画に伴う仮設校舎設置(賃貸借)を引き続き行います。

【学校施設老朽化抑制事業】兼城小学校旧校舎の老朽化を抑制するため外壁改修・防水工事等の計画(工事)を行います。

(2) 直近5年の個別施設の整備計画

令和 10 (2028) 年度

○新增改築事業

【高嶺小学校】高嶺小学校の移転及び中学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（工事）を行います。

【高嶺中学校】高嶺中学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（工事）を行います。

【給食センター】給食センターの改築及び改修に伴う増改築計画(基本設計・実施設計・工事)を行います。

○長寿命化改良事業

○予防改修事業

【潮平小学校】老朽化した潮平小学校校舎の予防改修の計画(工事)を行います。

○大規模改造事業

【糸満南小学校】校舎の既存空調設備の更新及び新設の計画(実施設計・工事)を行います。

【真壁小学校】校舎の既存空調設備の更新及び新設の計画(実施設計・工事)を行います。

【糸満小学校】屋内運動場に空調設備新設の計画(実施設計)を行います。

○その他施設改修事業等

【学校施設屋外教育環境整備事業】高嶺小学校の移転に伴うグラウンドの整備計画(実施設計・工事)を行います。

【照明器具更新改修事業】小学校の校舎既設照明器具LED化の更新計画(実施設計・工事)を行います。

【電話機更新改修事業】中学校の電話機器の老朽化に伴う更新計画(工事)を行います。

【南山城整備推進事業】高嶺小学校の移転に伴う用地取得の計画(用地取得等・工事)を行います。

【糸満南小学校校舎増築事業】児童数増加による教室数不足の解消に伴う仮設校舎設置（賃貸借）を引き続き行います。

【学校施設老朽化抑制事業】西崎小学校校舎の老朽化を抑制するため外壁改修・防水工事等の計画(工事)を行います。

令和 11 (2029) 年度

○新增改築事業

【高嶺小学校】高嶺小学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（工事）を行います。

【高嶺中学校】高嶺中学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画（工事）を行います。

【給食センター】給食センターの改築及び改修に伴う新增改築計画(工事)を行います。

○長寿命化改良事業

○予防改修事業

(2) 直近5年の個別施設の整備計画

令和 11 (2029) 年度

○大規模改造事業

【糸満南小学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画(実施設計・工事)を行います。

【真壁小学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画(実施設計・工事)を行います。

【糸満小学校】屋内運動場に空調設備新設の計画(工事)を行います。

【給食センター】給食センターの改築及び改修に伴う増改築計画(工事)を行います。

○その他施設改修事業等

【学校施設屋外教育環境整備事業】高嶺小学校の移転に伴うグラウンドの整備計画(工事)を行います。

【照明器具更新改修事業】小学校の校舎既設照明器具LED化の更新計画(工事)を行います。

【照明器具更新改修事業】中学校の校舎既設照明器具LED化の更新計画(実施設計)を行います。

【南山城整備推進事業】高嶺小学校の移転に伴う用地取得の計画(工事)を行います。

【糸満南小学校校舎増築事業】児童数増加による教室数不足の解消に伴う仮設校舎設置計画(賃貸借)を引き続き行います。

【学校施設老朽化抑制事業】西崎中学校校舎の老朽化を抑制するため外壁改修・防水工事等の計画(工事)を行います。

令和 12 (2030) 年度

○新增改築事業

【高嶺小学校】高嶺小学校の移転及び中学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画(工事)を行います。

【高嶺中学校】高嶺中学校の移転及び小学校との施設集約・複合化に伴う新增改築計画(工事)を行います。

【給食センター】給食センターの改築及び改修に伴う新增改築計画(工事)を行います。

○長寿命化改良事業

【兼城小学校】老朽化した兼城小学校旧校舎の長寿命化改良の計画(工事)を行います。

○予防改修事業

○大規模改造事業

【市内小中学校】校舎空調設備の更新及び新設の計画(実施設計・工事)を行います。

○その他施設改修事業等

【照明器具更新改修事業】中学校の校舎既設照明器具LED化の更新計画(工事)を行います。

【老朽化校舎改修事業】老朽化した校舎の外壁改修・防水の計画(工事)を行います。

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準・整備計画

(2) 直近5年の個別施設の整備計画

(百万円)

事業名称	2026		2027		2028		2029		2030		
	令和8年		令和9年		令和10年		令和11年		令和12年		
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	
改築・長寿命化改修等	新增築事業	高嶺小学校	54.9	高嶺小学校	155.7	高嶺小学校	299.5	高嶺小学校	1,694.0	高嶺小学校	485.3
		高嶺中学校	33.0	高嶺中学校	100.2	高嶺中学校	147.1	高嶺中学校	1,270.0	高嶺中学校	345.5
				給食センター		給食センター		給食センター		給食センター	4,146.3
	長寿命化改良事業	糸満市立中央図書館	22.0								
				潮平小学校	64.2	潮平小学校	1,406.3				
予防改修事業											
部位改修	劣化対応										
その他施設整備費	耐震化事業 非構造部材の耐震化含む										
	防災関連事業										
	教室不足解消事業 教育環境の向上事業	糸満中学校	47.3								
	大規模改造(空調) (空調整備) 屋内運動場			兼城中学校		兼城小学校	7.2	兼城小学校	137.6		
	大規模改造(空調) (空調整備)	兼城小学校	2.1	兼城小学校	15.0	糸満南小学校	58.1				
		西崎小学校	1.5	西崎小学校	11.4	真壁小学校	61.7				
		潮平小学校	2.3	潮平小学校	16.5						
		糸満中学校	1.5	糸満中学校	6.6						
	大規模改造 (バリアフリー化等施設整備)										
	その他		58.1		58.1		58.1		58.1		58.1
経常修繕費		23.0		23.0		23.0		23.0		23.0	
維持管理費		35.5		35.5		35.5		35.5		35.5	
光熱水費・委託費		136.0		136.0		136.0		136.0		136.0	

糸満市学校施設等長寿命化計画(改定)

令和7年3月

糸満市 教育委員会教育部

〒901-0392 沖縄県糸満市潮崎町1丁目1番地

TEL : 098-840-8160(教育総務課 施設係)